

- 1 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
① 連合国家 ② 中央集権国家 ③ 都市国家 ④ 封建国家
- 2 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
① 庚午年籍 ② 租庸調 ③ 防人 ④ 班田収授法
- 3 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
① 聖徳太子 ② 藤原不比等 ③ 中臣鎌足 ④ 蘇我馬子
- 4 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？
① 東大寺 ② 中尊寺 ③ 四天王寺 ④ 法隆寺
- 5 663年に、百濟復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？
① 白村江の戦い ② 壬申の乱 ③ 承久の乱 ④ 関ヶ原の戦い
- 6 百濟などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
① 年寄 ② 渡来人 ③ 庄屋 ④ 豪族
- 7 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？
① 天智天皇 ② 持統天皇 ③ 天武天皇 ④ 文武天皇
- 8 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？
① 禅宗様 ② 和様 ③ 大仏様 ④ 左右対称
- 9 飛鳥時代、仏教の採用をめぐって蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？
① 大伴氏 ② 物部氏 ③ 葛城氏 ④ 蘇我氏
- 10 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
① 応仁の乱 ② 承久の乱 ③ 壬申の乱 ④ 元弘の乱
- 11 645年、天皇中心の国づくりをめざして改革を始めた2人の組み合わせは？
① 中大兄皇子と中臣鎌足 ② 聖徳太子と蘇我馬子 ③ 大海人皇子と大友皇子 ④ 推古天皇と小野妹子
- 12 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
① 地頭 ② 御家人 ③ 守護 ④ 渡来人
- 13 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
① 律令制度 ② 大化の改新 ③ 班田収授法 ④ 封建制度
- 14 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
① 大宝律令 ② 冠位十二階 ③ 十七条の憲法 ④ 大化改新の詔
- 15 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
① 道教 ② 仏教 ③ 儒教 ④ 神道



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	中央集権国家 とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。		2 中央集権国家	☐
2	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「 防人 」を配置して警備を強化しました。		3 防人	☐
3	聖徳太子 は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。		1 聖徳太子	☐
4	法隆寺 は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。		4 法隆寺	☐
5	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。		1 白村江の戦い	☐
6	渡来人 は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。		2 渡来人	☐
7	天武天皇 は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。		3 天武天皇	☐
8	釈迦三尊像に見られる「 左右対称 」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。		4 左右対称	☐
9	物部氏 は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推し進める仏教の導入に強く反対しました。		2 物部氏	☐
10	672年に勃発したこの内乱は「 壬申の乱 」と呼ばれます。		3 壬申の乱	☐
11			1 中大兄皇子と中臣鎌足	☐
12	渡来人 たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。		4 渡来人	☐
13	律令制度 とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。		1 律令制度	☐
14	604年に制定されました。		3 十七条の憲法	☐
15	仏教 は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。		2 仏教	☐

言えなかった用語ノート